01 起動してから接続する

iPadOS 26系・Safariで音通信を確認します。
1頁から順番に試してください。

用意するもの

USB-C端子のある対応iPad、チャッピー本体、
データ通信できるUSB-C–USB-Cケーブル。





A 先にSafariでアプリを開く

iPadのロックを解除し、チャッピーの
教材Webアプリを開きます。





B その後、チャッピーをつなぐ

本体の電源を入れ、C-Cケーブルで接続します。
両端がしっかり挿さっているか確認します。



アプリ画面の参考

下図はPC版の提供画面です。
iPadでは表示や接続方法が
異なります。



PC版の提供画面

画面が開けない場合

インターネット接続を確認し、開けなければ
学校のサポート窓口へ相談します。

接続できたら、挿したまま2頁へ。

02 接続後に音量を最大に

チャッピーを挿した後の音量が大切です。
ケーブルを挿したまま操作します。

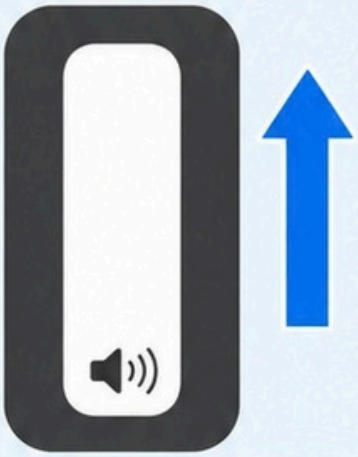
A コントロールセンターを開く

画面の右上の端から、下へスワイプします。



B 音量を最大にする

スピーカーのマークがある音量スライダを、
一番上まで動かします。



C 消音モードをOFFにする

消音モードのボタンを確認し、
ONならOFFに切り替えます。



必ず「挿した後」に設定

挿す前の音量設定だけでは不十分です。
差し直した後も、その都度、音量を最大にします。

図の見方

模式図です。ボタンの配置は設定で異なります。
明るさ・着信音・入力ゲインの調整では
ありません。

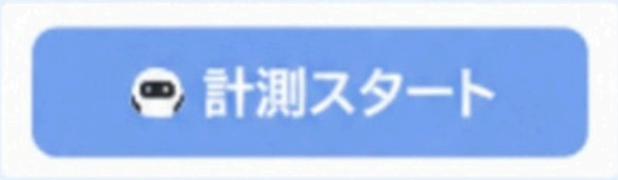
音量が最大・消音がOFFになったら、3頁へ。

03 計測して通信を確かめる

ここで、正常につながった状態を確認します。

A 「計測スタート」を押す

Safariのチャッピー画面に戻り、
グラフの下にあるボタンを押します。



B マイクの確認が出たら「許可」

チャッピーのサイトへのマイク使用を許可し、
画面の案内に従って進めます。



※ 公式手順に基づく模式図です

C グラフに波形が表示されるか見る

計測値が表示され、グラフの線が描かれれば
通信できています。



グラフは表示例です

数値や線の形は環境によって
変わります。
温度などの線が水平でも、
それだけで異常ではありません。

通信できたら終了。
表示されなければ４頁へ。

04 このサイトのマイクを許可

Safari全体の設定を変える前に、
チャッピーのサイトだけを確認します。

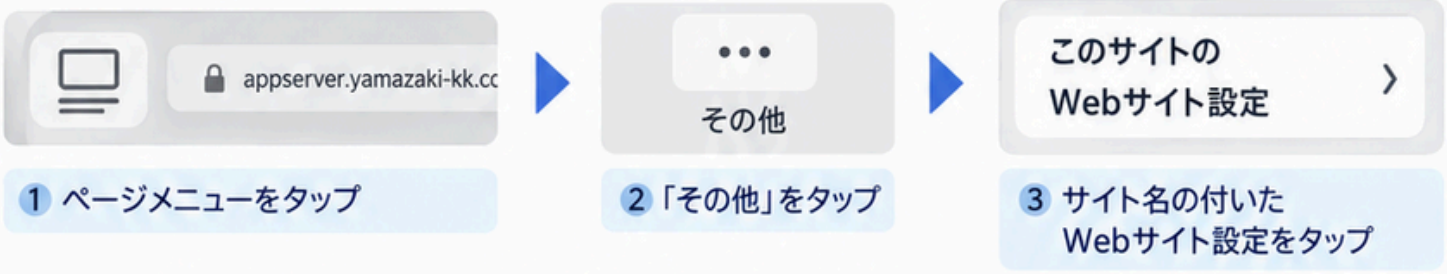
A チャッピーのサイトを開く

Safariで教材Webアプリを表示します。
アプリのURL：

appserver.yamazaki-kk.com/chappy-editor/

B サイト専用の設定を開く

検索欄の左の「ページメニュー」→「その他」→
サイト名の付いたWebサイト設定を開きます。



1 ページメニューをタップ

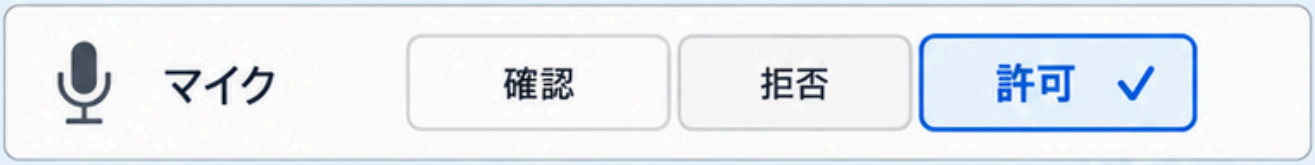
2 「その他」をタップ

3 サイト名の付いた
Webサイト設定をタップ

公式手順に基づく模式図

C マイクを「許可」にする

このサイトのマイク設定を「許可」にします。
ほかのサイトを一括で許可する必要はありません。



公式手順に基づく模式図

戻って、もう一度計測

再読み込みを求められたら、作業を保存してから
再読み込みし、3頁の計測を試します。

設定を変更できない場合

学校の管理設定の可能性があります。
変更できなければ、7頁の管理担当へ
相談します。

改善しなければ5頁へ。変更できなければ7頁へ。 ›

05 音声の入力先を確認

iPad内蔵マイクのままになっていないか
確認します。接続は外さずに進めます。

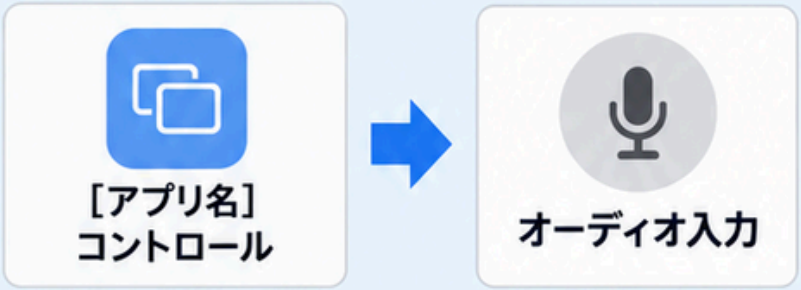
A 計測を始めてから確認

マイクを許可して計測を始めた状態で、
右上からコントロールセンターを開きます。



B アプリのコントロールを開く

表示される場合は「[アプリ名] コントロール」→
「オーディオ入力」の現在の機器をタップします。



C 「Chappy V1」を選ぶ

iPad内蔵マイクのままなら「Chappy V1」を選び、
Safariに戻って3頁を試します。
名前はバージョンによって変わります。



公式手順に基づく模式図／名前はバージョンによって変わります

項目や機器が表示されない場合
対応状況や表示は環境で異なります。
見つからなければ6頁の差し直しを試します。

入力の音量と、通信の音量は別です
ここでは入力先を確認します。
通信のための音量最大は、2頁の音量スライダです。

改善しない・入力先が見つからない場合は6頁へ。

06 差し直し・交換・再起動

1つずつ試し、毎回、計測して確かめます。
作業中のプログラムは先に保存してください。

A ケーブルを差し直す

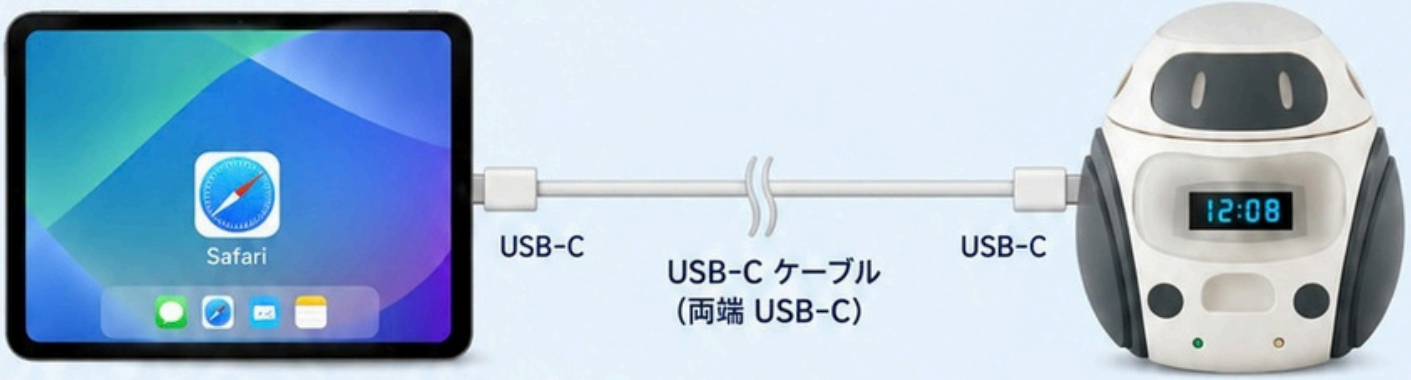
iPad側を抜き、ロックを解除します。
Safariでアプリを開いてから、もう一度挿します。

B 通信できるケーブル・本体で比較

まずC–Cケーブルだけ、次に本体だけを交換します。
交換用がなければ、この確認は飛ばせます。

C 改善しなければiPadを再起動

再起動後、Safariでアプリを開いてから接続し、
同じように計測して確認します。



図は接続の模式図です

ケーブルは両端USB-Cです。
端子の位置は実機の形状を示すものではありません。

挿し直すたびに、この順番で

接続 → 2頁：音量最大・消音OFF → 3頁：計測。

差し直し・交換・再起動後も同じです。

改善しなければ、7頁の管理担当へ相談します。

07 解決しないときは相談する

学校の指定する管理担当・ICTサポート窓口に、
試したことと、その結果を伝えます。

A 学校の指定窓口へ連絡

ICT担当・ヘルプデスクなどに連絡します。
必要に応じて、教育委員会や保守事業者が確認します。

管理担当への連絡例

「授業で、iPadのSafariで開く教材Webアプリから
ロボット『チャッピー』を動かしたいのですが、
音通信ができません。
アプリを開いてから本体をつなぎ、接続後に音量を
最大、消音をOFFにしました。このサイトのマイクを
許可し、音声入力先も確認しました。
差し直し、ケーブル・本体の交換、再起動も試しましたが、
『計測スタート』を押してもグラフが表示されません。
学校の管理設定でマイクや接続機器の使用が制限
されていないか、端末やアプリの問題も含めて
確認をお願いします。」



B 実際に試したことだけ残す

連絡例のうち、実施していない確認は削除します。
出たエラーや画面があれば、合わせて伝えます。

原因は管理設定とは限りません

変更できない設定は管理担当に確認してもらいます。
本体・ケーブル・iPad・アプリの確認も必要です。
学校の指定窓口の案内に従ってください。